

宇宙開発の現状報告

(平成 22 年 3 月 17 日(水) ~ 平成 22 年 3 月 23 日(火))

平成 22 年 3 月 23 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発に関する国内の動向

- 金星探査機「あかつき」(PLANET-C)種子島に到着
3 月 19 日(金)、金星探査機「あかつき」(PLANET-C)が打ち上げのため、種子島宇宙センターに到着した。「あかつき」を載せたトラックは 3 月 17 日夕方に相模原キャンパスを出発し、3 月 19 日 17 時 30 分頃に種子島宇宙センターの第 2 衛星組立棟(STA2)に無事到着した。今後は、「あかつき」の点検やペイロードへの搭載、機能確認など、打ち上げに向けた最終準備を行う。
なお、「あかつき」と「IKAROS」など、計 6 基の衛星を載せた H- A ロケット 17 号機は 5 月 18 日 6 時 44 分(日本標準時)、種子島宇宙センターから打ち上げ予定。

宇宙開発に関する海外の動向

- プロトンロケットによる放送衛星の打上げに成功 【露】
3 月 20 日(土)18 時 27 分(世界標準時、以下同じ)、インターナショナル・ロンチ・サービズ(ILS)社は、バイコヌール宇宙基地よりプロトンM/ブリーズMを打ち上げ、米エコスター社の放送衛星「エコスター14」の所定の軌道投入に成功した。打上げ時の質量は約 6,379 kg。
- 民間宇宙船、初の係留飛行を実施【米】
3 月 22 日(月)、ヴァージン・ギャラクティック社は、同日、米カリフォルニア州のモハーベ空港で、宇宙船「VSS エンタープライズ」とその母船による初の係留飛行に成功した旨を発表。